## 産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 5年 6月 30日

富山市長 殿

提出者

住 所 富山市牛島町24-6

氏 名 日本海建興株式会社 代表取締役社長 山田 仁史

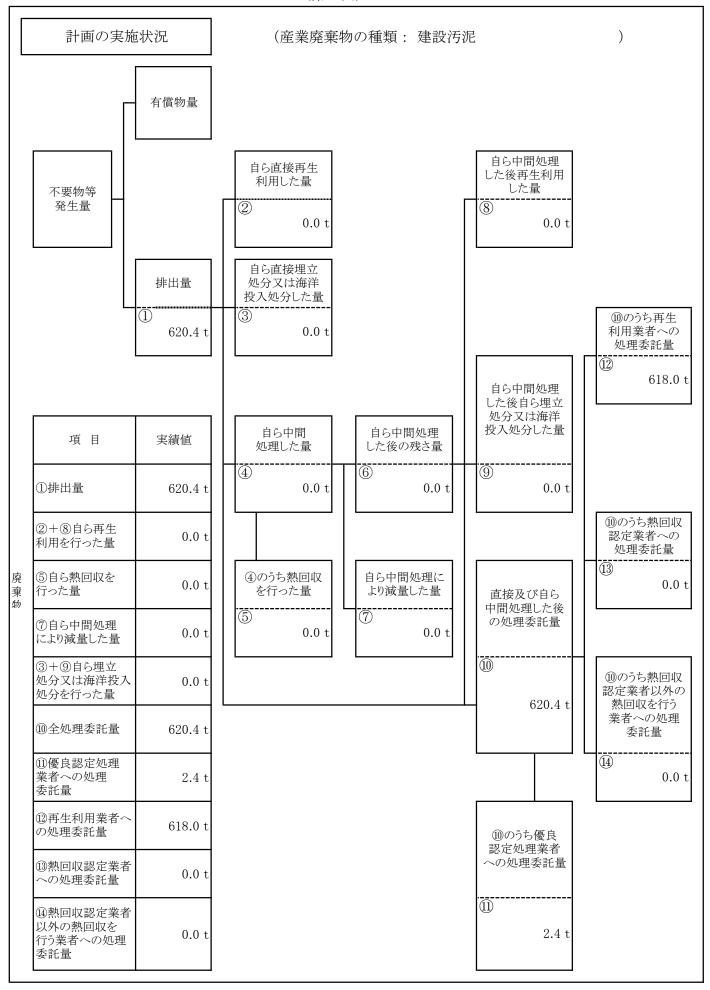
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 076-431-8001

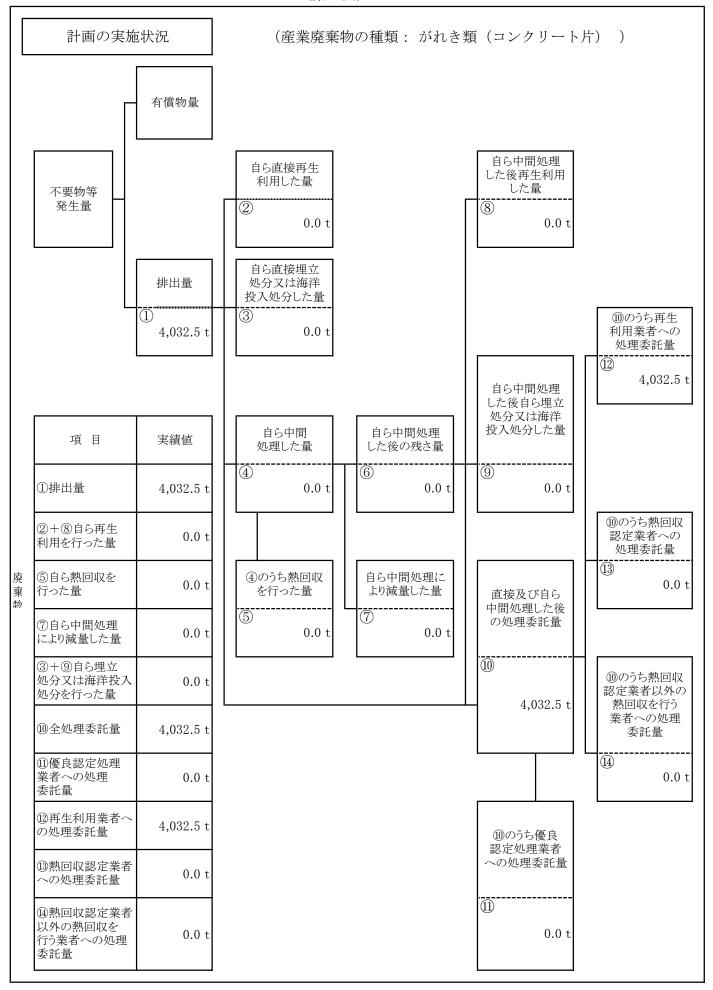
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和4年度の産業廃棄物処理 計画の実施状況を報告します。

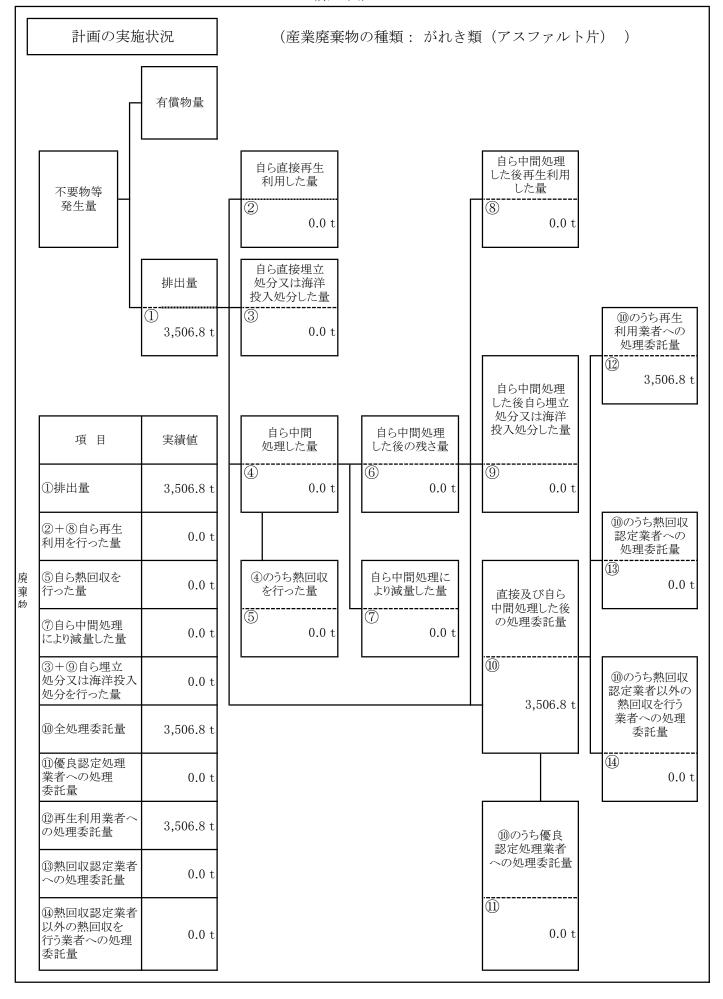
事	業場	の名	称	日本海建興株式会社
事	業場の	) 所在	地	富山市牛島町24-6
事	業 0	) 種	類	D06 総合工事業
産業計	美廃棄物処理 画	理計画におり 期	ける 間	令和4年 4月 1日 ~ 令和5年 3月 31日

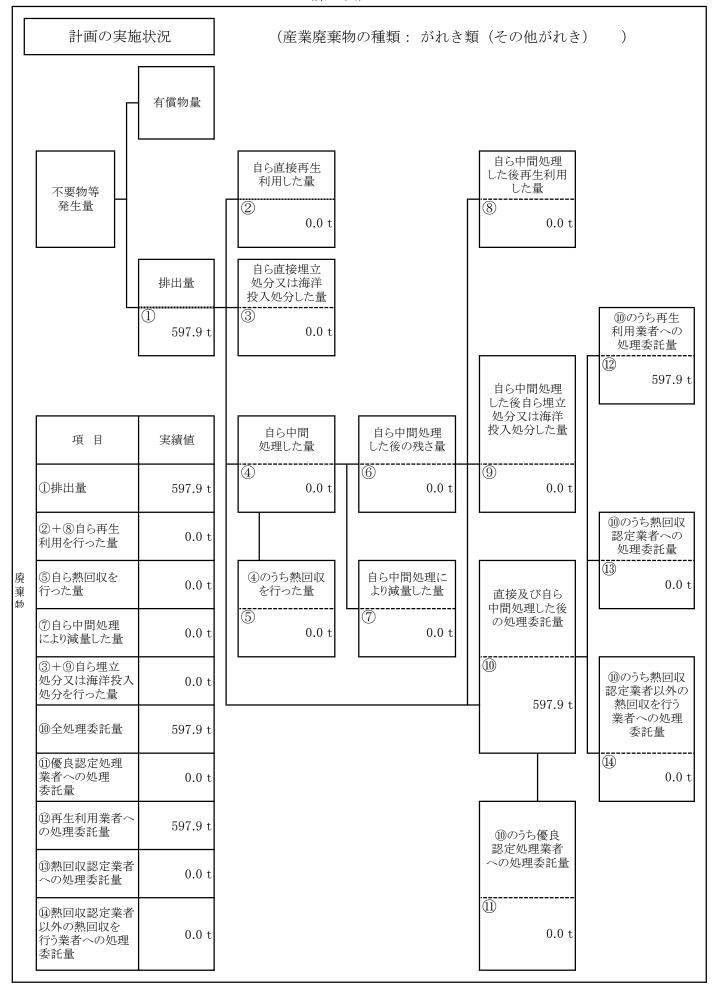
## 産業廃棄物処理計画における目標値

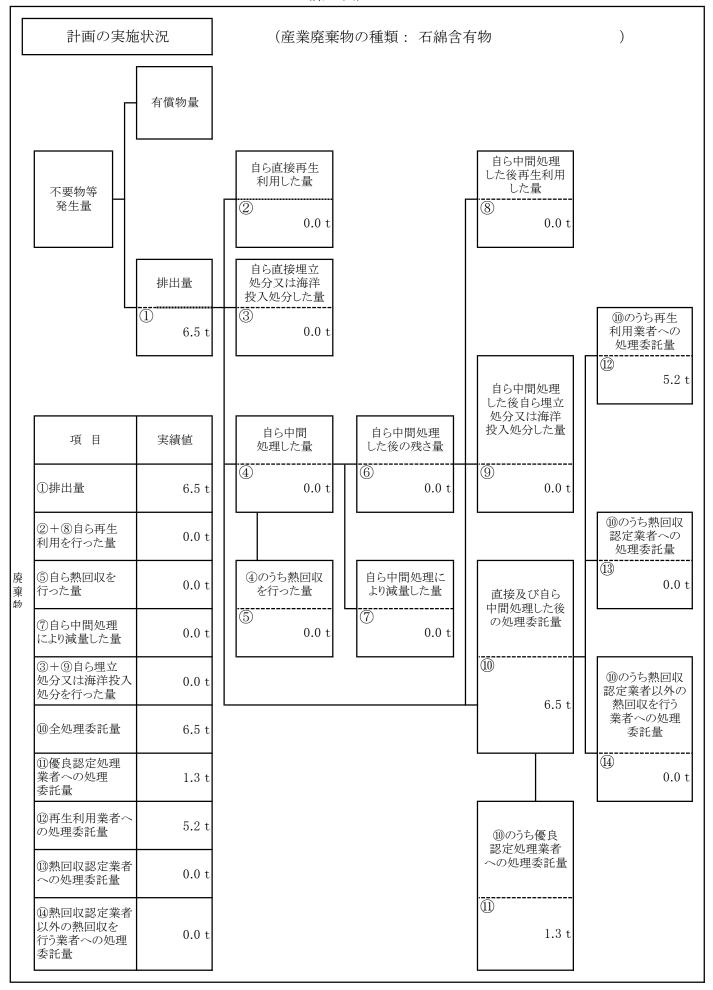
項目		目	標	値		I	頁	目		目	標	値
排出出	量	内訳:別		, 845. 0 のとおり	t 全	主 処	理	委	託 量	内訳:別		845.0 t )とおり
自ら再生利用 産業廃棄物				_	優 t 奴		定 奴 の 委	)	業者へ モ 量			— t
自ら熱回収を産業廃棄物				_	t 型	手生利 上 理	」用 委	業者	fへの 王 量		15,	845.0 t
自ら中間処理により 産業廃棄物				_	t 刻			文業 記	者への 量			— t
自ら埋立処分海洋投入処分 産業廃棄物	を行う			_	t o	熱回	収を	行:	者以外 う 業者 託 量			— t
事務処理欄												

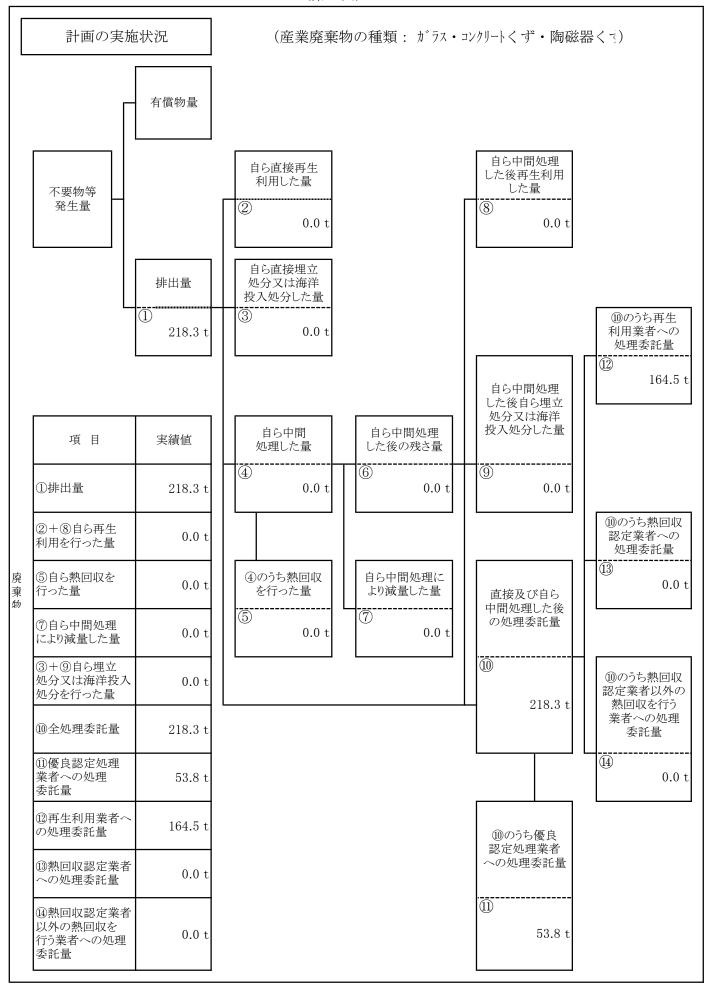


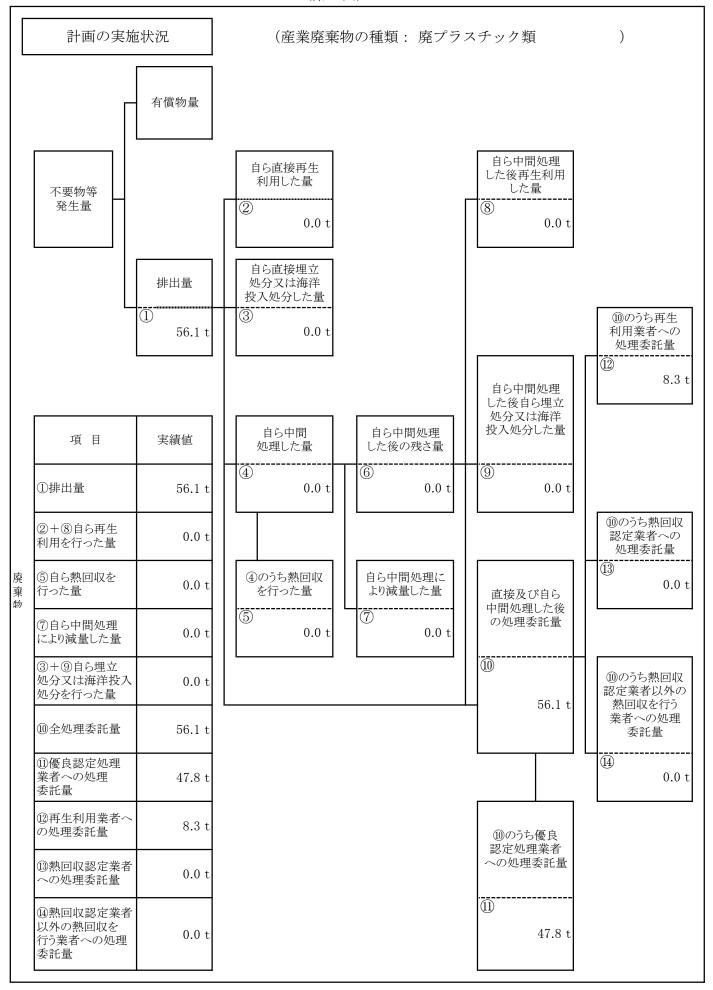


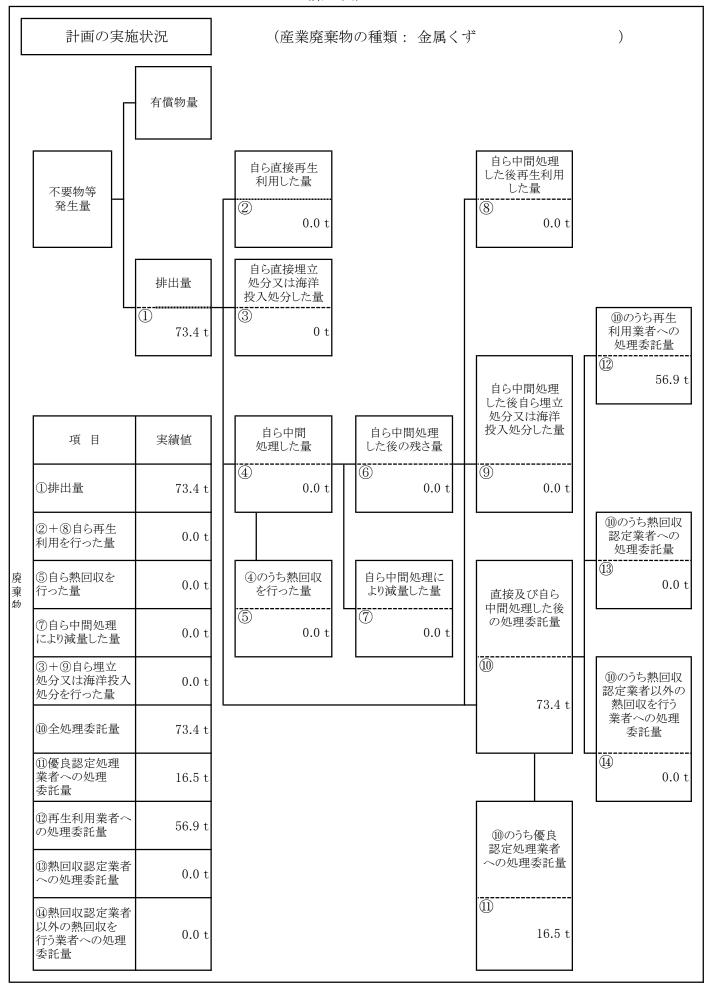


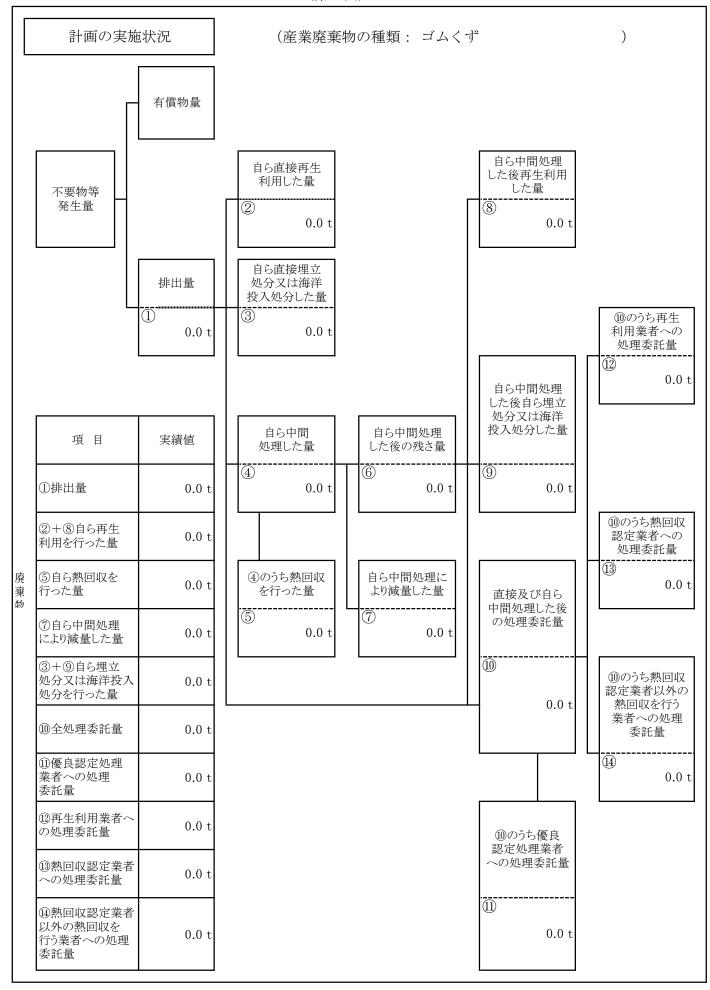


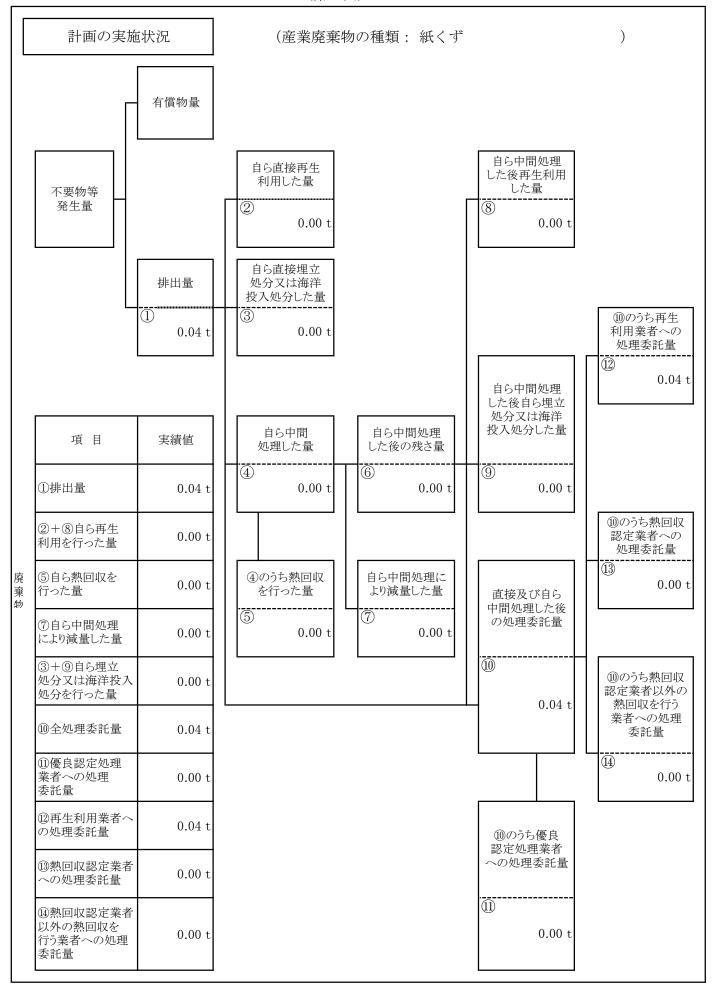


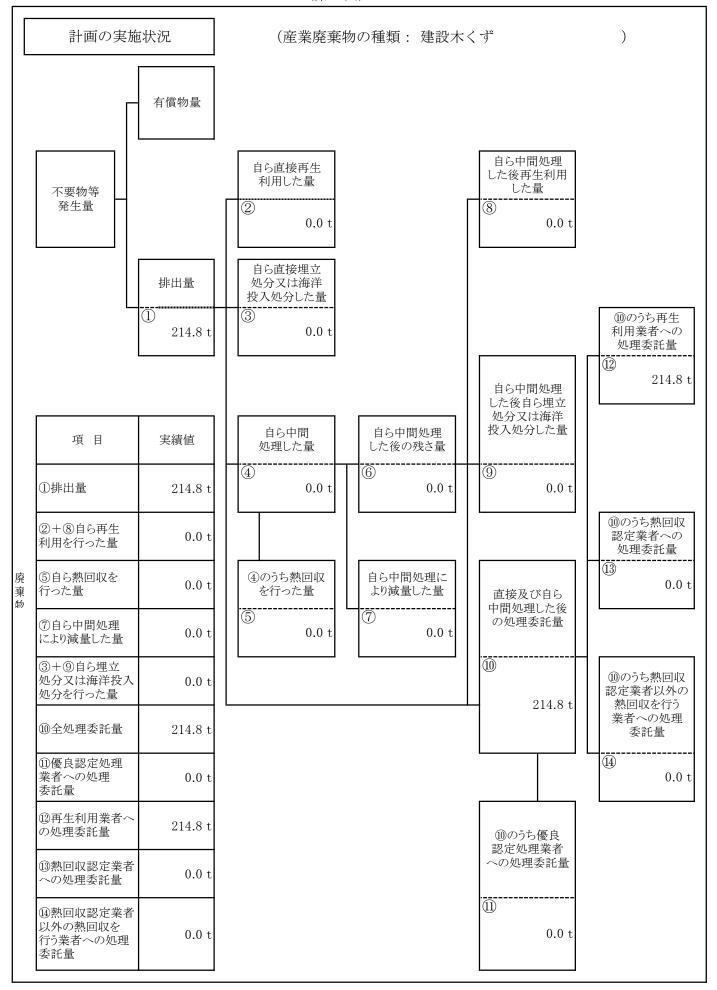


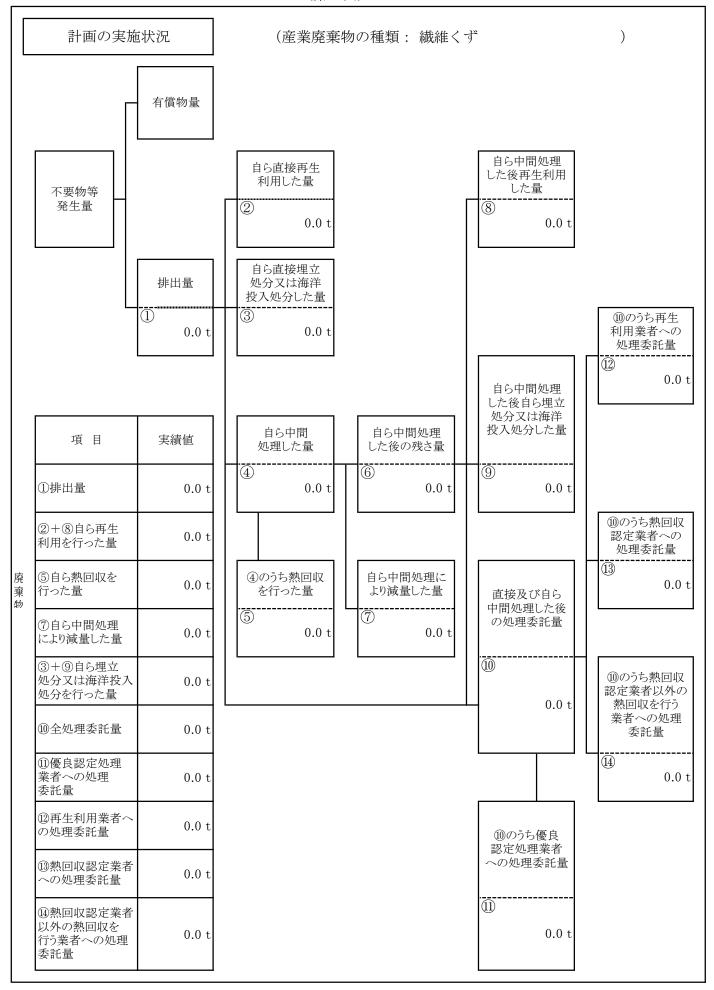


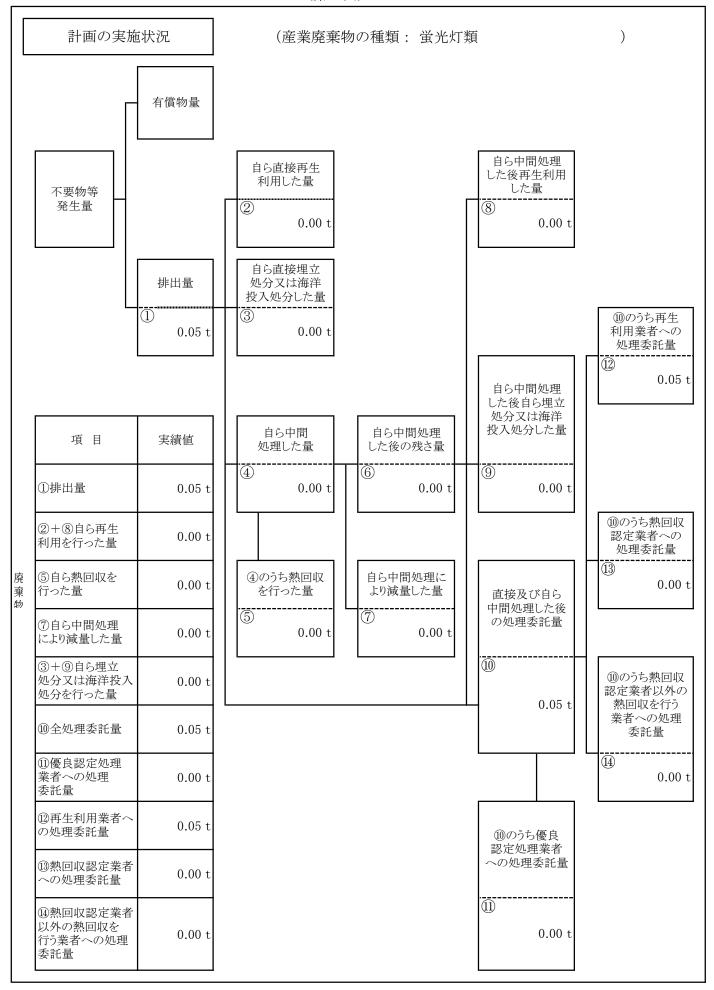


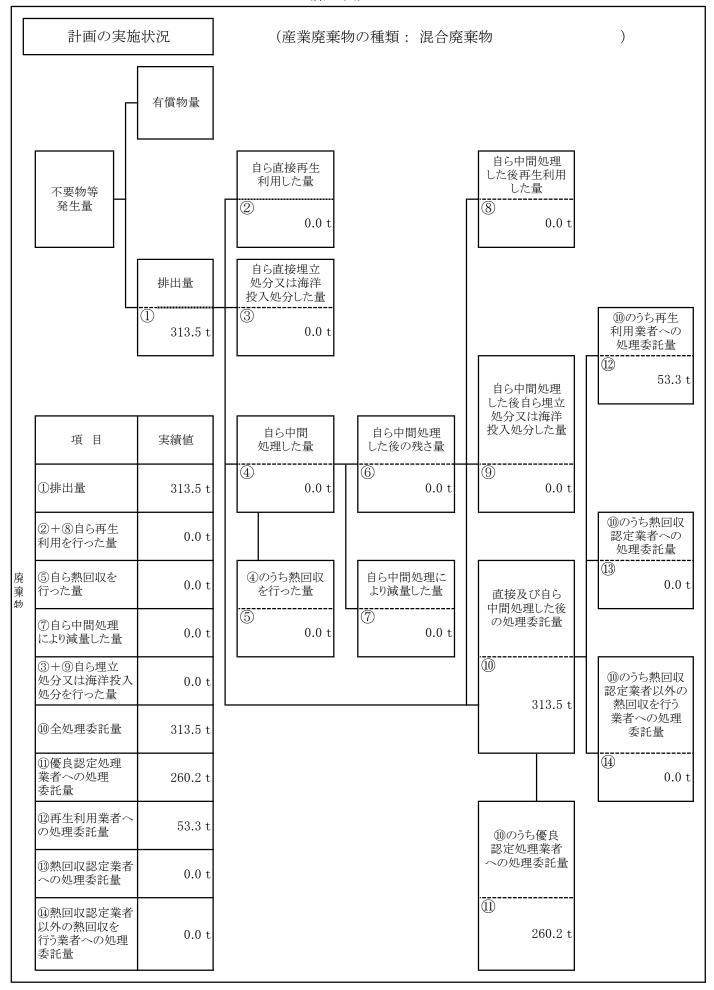












#### 備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に 記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①~⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14) に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) (7)欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行 令第6条の11第2号に該当する者) への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ③欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を 記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業 廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

# 別紙①

## **産業廃棄物処理計画実施状況報告書(集計用)**

提出者の名称	日本海建興(株)	提出者の住所	富山市牛島町24-6			
事業場の名称	同上	事業場の所在地	同上			
内容年度	令和4 年度	·				

(単位:t)

富山市内(単位)												(平位.1)				
廃棄物の種類			自社内での処理状況									委託先での処理状況				
			自己中間処理をしない		自己中間処理をする											
		、処理委託量 )		如						_	禾	⑩委託処理量のうち委託先毎の量				
			利用 用量生	分量(埋立自己最終	処理量 目己中間	熱④ 回の 収っ ***	残理 処理 後 登 後	自司用面	自 処分最	減 量 化量 见	安託処理量	処理委託のとい	処理委託の日生利用業	処理委託の定	への処理委託量を行う業者を行う業者を行う業者製回収認定業者	
				$\stackrel{\perp}{\smile}$		単り	[E]	量生	量終	理		量で理	量者	量 業   者	託者収業 量 収者	
		Α	В	С	D	E	F	G	Н	I (D. 5)	J	К	L	М	N	
第2面との☆	 対応番号→	<u>(1)</u>	2	<u>(3)</u>	<b>(4</b> )	(5)	6	(8)	<u>(9)</u>		10)	<u>(11)</u>	(12)	(13)	<u> </u>	
	900.0							-	-					-	-	
がれき類(コンクリート片)	8,100.0	4,032.5	-	_	_	_	_	_	_	_	4,032.5	_	4,032.5	_	_	
がれき類(アスファルト片)	5,100.0	3,506.8	-	-	_	_	-	-	_	_	3,506.8	-	3,506.8	-	_	
がれき類(その他がれき)	500.0	597.9	_	-	-	_	-	-	_	-	597.9	-	597.9	-	-	
石綿含有物	10.0	6.5	-	-	-	-	-	-	-	-	6.5	1.3	5.2	_	-	
ガラス・コンクリートくず・陶磁器くず	300.0	218.3	-	-	_	_	-	-	-	_	218.3	53.8	164.5	-	_	
廃プラスチック類	70.0	56.1	-	-	_	-	-	-	-	-	56.1	47.8	8.3	-	-	
金属くず	60.0	73.4	-	-	-	_	_	_	_	_	73.4	16.5	56.9	-	-	
ゴムくず	0.0	-	-	-	-	_	ı	-	-	_	ı	-	-	-	-	
紙くず	1.0	0.04	_	-	_	_	_	_	_	_	0.04	_	0.04	_	_	
建設木くず	300.0	214.8	-	-	_	_	_	-	_	_	214.8	-	214.8	-	_	
繊維くず	3.0	-	-	-	_	_	-	-	-	_	_	-	-	-	-	
蛍光灯類	1.0	0.05	-	-	_	_	-	-	-	_	0.05	-	0.05	-	-	
混合廃棄物	500.0	313.5	-	-	_	_	-	-	-	_	313.5	260.2	53.3	-	-	
合 計	15,845.0	9,640.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9,640.3	382.1	9,258.2	0.0	0.0	
				1							15,845.0		15,845.0			
	第2面との文 建設汚泥 がれき類(コンクリート片) がれき類(アスファルト片) がれき類(その他がれき) 石綿含有物 がラス・コンクリートくず・陶磁器くず 廃プラスチック類 金属くず ゴムくず 紙くず 建設木くず 繊維くず 蛍光灯類	#2面との対応番号→ 建設汚泥 900.0 がれき類(コンクリート片) 8,100.0 がれき類(アスファルト片) 5,100.0 がれき類(その他がれき) 500.0 石綿含有物 10.0 ガラス・コンクリートくず・陶磁器くず 300.0 廃プラスチック類 70.0 金属くず 60.0 ゴムくず 0.0 紙くず 1.0 建設木くず 300.0 繊維くず 3.0 ・ 3.0 ・ 3.0 ・ 4.1 ・ 3.0 ・ 3.0 ・ 3.0 ・ 3.0 ・ 4.1 ・ 5.845.0	廃棄物の種類       書標 計画 	廃棄物の種類       書       委出 計画       利目 用再生生         第2面との対応番号→ ①       ②       ②       全建設汚泥       900.0       620.4       -         がれき類(コンクリート片)       8,100.0       4,032.5       -         がれき類(アスファルト片)       5,100.0       3,506.8       -         がれき類(その他がれき)       500.0       597.9       -         石綿含有物       10.0       6.5       -         カ'ラス・コンクリートくず・陶磁器くず       300.0       218.3       -         廃プラスチック類       70.0       56.1       -         金属くず       60.0       73.4       -         ゴムくず       0.0       -       -         紙代くず       1.0       0.04       -         機能くず       3.0       -       -         強光灯類       1.0       0.05       -         混合廃棄物       500.0       313.5       -         合業物       500.0       313.5       -	廃棄物の種類       書標 (計画 )       委出 記量 量量生       利目用再 生生       記量 2 量 2 量 2 量 2 量 2 量 2 量 2 量 2 量 2 量 2	廃棄物の種類       発生量のの目標標度計画画       人処理排售量量生       担き機会出産とない         第2面との対応番号→ (理験と対定)       (国産生生)       (国産性)         本建設汚泥       900.0       620.4	廃棄物の種類       発生量量のの目標 は計画面との対応番号→ ①       ①       ②       ③       型型 量 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 型 の 日 	発生   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日	廃棄物の種類       第2面との対応番号 でいまします。       ①       ②       ③       ④       機・型・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	廃棄物の種類       第2面との対応番号 (元)	廃棄物の種類       発生量の目標準度を設定を含される。       日本の対応番号・まま量量の開展できる。       日本の対応番号・まま量量の関係である。       日本の対応番号・まま量量の関係である。       日本の対応番号・まま量量の変数を構造を含まる。       日本の対応番号・まま量量の変数を構造を含ままままままままままままままままままままままままままままままままままま	廃棄物の種類       人の目標を表出しません。       自己中間処理をする       日本の日間のの目標を表出しません。       日本の対応番号・できません。       日本の対応を表しません。       日本の対応を表しません。	廃棄物の種類       人の規模機構製品       日本の利の機関を出す。       日本の利の場合を表現を出する。       日本の利の場合を表現を出する。       日本の利の場合の利のでは、またの利用の場合の利用の場合の関係を表現を出する。       日本の利ののでは、またの利用の場合の利のでは、またの利用の場合の例用の場合の例用の場合の利用の場合の例用の場合の例用の場合の例用の場合の例用の場合の例用の場合の例用の場合の例用の場	廃棄物の種類       発生量のの目標等計量       人間を計算       人間のではません。       自己中間処理をする       人間のではません。       人のではません。       人のではません。       人のではません。       <	廃棄物の種類         売食量 受出 が計算         人名 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	